

命のエネルギーが基準

——そのこだわった部分というのを教えてくださいいただけますか？

特徴的なのは温度をかけないこと。5度から38度という大部分の地球上の生物が生きている命の温度帯で作っています。これによってビタミン、酵素や波動などが失われないでそのまま残っています。これは高温で蒸留する一般的な精油では失われてしまっているものです。

——他では行われていないのですか？

そうですね、一般的に香りの製品は海外から輸入されるものがほとんどなので、精油で運ばれます。持ち運びもしやすいですし、経済的な都合も大きいですね。でも、僕は肌感覚から入ってるので、経済的な都合とか、手間とか関係なくて、植物の命がそのまま生きるにはどうしたら良いのかということを経験して作っているんです。

——大切にされている部分ですね。

生命のエネルギーです。この命に対する考え方は、肌のことを研究している時に思ったことなのですけどね。うちの製品の中に入ってる酵素にも共通する考え方です。栄養素や成分を取ろうという人間側からの発想ではなく、その命がいかに開くかという事を考えて作るということなんですよ。

心のバランスをとる香り

——成分的にも違いがあるのですか？
はい、微量成分ですが、大きな違いがあ



ります。先ほどお話した、酵素やビタミンもそうですが、その他、高い温度では失われてしまうような、メインの香りの成分以外の微量成分がきちんと入っているのです。香りの感覚的には本当に微妙な違いなのですが、それが大きな違いを生んでいます。

——どういったことでしょうか？

お話し会では話すのですが、食塩を沢山摂ると血圧が上がってしまうという話がありますよね。でも実はそれは精製塩の話で、天然塩は結構摂ってしまってもちゃんと代謝されるという話があります。

——それが微量成分による違いなのですか？

はいそうです。天然塩の中には主な成分のNaCl以外に60種類以上の微量成分が入っていて。その微量成分があることによって体の中のNaClを代謝する機能が発揮されるんですよ。それに引き換え、精製塩の場合はNaClだけです。なのでそれがうまく代謝されない。だから血圧が上がってしまうんです。

——なるほど、微量成分があるからそのバランスなのですね。